



日本木材青壮年団体連合会 環境憲章

【理 念】

日本木材青壮年団体連合会（日本木青連）は、類まれなる環境性能を有する木質資材を扱う“木財人”として、長期的な視野に立って、更なる地球規模での環境保全に取り組み、循環型経済社会の形成を通じて、人類と森林と地球が調和する豊かな未来に貢献します。

～私たちは、木材が人類共有の財産であることから、その持続的な利活用を目指す会員を“木財人”と称しています～

【基本方針】

1.《木材利用の地球環境貢献》

木材利用の促進を通じて、地球環境に貢献する事業を推進します。

- ①木材製品の炭素貯蔵による地球環境貢献効果を正しく理解し、高炭素ストック社会の形成を目指して、木材利用の促進に努めます。
- ②木材加工の省エネルギー性能を正しく理解し、低炭素排出社会の形成を目指して、更に環境負荷の小さい木材製品と、その生産、流通技術の開発に努めます。
- ③地球上の健全な炭素循環における森林の役割を理解し、木材の持続可能な利用によってその機能が最大限に発揮される観点から、森林による炭素吸収源の拡大に貢献します。

2.《事業活動》

事業活動全般において、環境法令の遵守と一層の環境負荷の低減に努めるとともに、日本木青連会員全体の環境管理レベルの向上を図ります。

- ①有毒物質の適正管理、3Rの推進（リデュース、リユース、リサイクル）による省資源を推進します。
- ②会員への環境教育を推進し、環境保全意識の高揚を図ります。
- ③ビジネスパートナーと協働して、木育活動などの環境保全活動を推進します。
- ④合法木材の利用を推進します。

3.《社会活動》

森林資源の有効な循環利用を通じて地球環境保全を推進します。

- ①木材の利用促進を通じて、循環型経済社会の形成に努めるとともに、持続可能な企業価値向上と会員の社会貢献への意識を高めます。
- ②行政機関、地域、関係団体と連携して、環境保全活動に積極的に参加、支援します。
- ③社会と協調して豊かな地域環境の実現を目指した環境活動に取り組みます。

4.《情報発信》

正確な環境情報を開示するとともに、フィードバック情報を環境活動の改善に活かします。

- ①環境情報を積極的に公開し、社会との環境コミュニケーションを推進します。
- ②木材製品における温室効果ガス排出量等の「見える化」に努めます。
- ③環境行動計画を公表し、計画的かつ継続的な環境活動を推進します。

制定 2010年 6月19日

日本木材青壮年団体連合会
平成21年度会長

久我 洋一



平成29年度

木 青 連 だ よ り

〔事業報告書〕

長野県木材青壮年団体連合会



平成29年度

木青連だより

目次

ごあいさつ	長野県木青連 会長 田中 一興	1
平成29年度事業概要		2
平成29年度会議・事業経過報告		4
平成29年度組織図		5
平成29年度出向者		5
一年を振り返って	長野県木青連 直前会長 土倉 宜也	6
	長野県木青連 財務担当 副会長 寺西 勝	6
	長野県木青連 副会長 澁澤 一吉	7
	日本木青連 監事 印出 晃	7
	日本木青連 木育推進委員会 委員 田中 俊章	7
第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール実施報告		8
第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト		10
おたり真夏の雪まつり2017事業報告		13
信州山の日イベント2017事業報告		13
信州環境フェア2017事業報告		14
信州バザール2017事業報告		15
会団事業報告	北信木青連	16
	東信木青連	17
	松本材青会	18
長野県木青連理事会議事録		20

今年一年をふりかえって



長野県木材青壮年団体連合会
平成29年度会長 田中 一興

まずもって、この一年、皆様にご協力を賜り、次年度県会員大会までなんとかたどり着いたこと、心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

代行副会長から含めますと2年、長野県木青連の理事として運営に携わらせていただき、県単位の連合会として、また業界若手団体として、その意義と運営方法、本業とそして家庭との両立や連携を、ずっと模索していた日々だったように思います。

今年は、平成8年に第1回が行われた木青連の森ラブグリーン事業の年を経過した節目の年度ということで、例年の事業に加え、埋められていたタイムカプセルを掘り起こし、開封イベントをさせていただきました。一言に20年と言いましても、当時、会員だったお父さんと一緒に参加した子供が、今は立派な大人となり、就職し、結婚し子供がいる会員もいます。「20年後の自分へ」と題された子供だった自分からの手紙を現会員が読み上げる姿は大変微笑ましくもあり、時間の流れとともに、森や木そして、人が世代をまたいでつながっていくことを実感するいい機会となりました。

第40回を迎えた長野県児童・生徒木工工作コンクールは、150校の小・中・盲・ろう・養護学校、5448名の児童生徒の方々に参加いただき、前回よりも1校、353名多いご参加をいただきました。作品は子供の創意工夫に溢れ、大人にはおおよそ想像つかない作品ばかりで、木に触れながら一生懸命に想像力を働かせ、作る子供の姿を思い浮かべると、木に携わる人間として子供の、そして木の可能性を大いに感じずにはいられませんでした。

また、私どもが販売させていただいている椅子

キッドを使った木工教室はどの会場も子供たちに非常に人気です。その子供たちが授業で、私どもの椅子キッドや、県産材を使った教材を使って木工工作ができることを、県や関係団体の方々となんとか実現できればと考えております。学校の授業が、県産材の教育啓発から普及利用につながり、職人育成にもつながる。いくつものメリットがあります。今年度はまず、教職員の方々への説明会を検討していただけるとのことです。県内全校で県産材が採用されるよう、先は長いですが実現を願っています。

全国に目を向けますと上部団体である日本木青連への出向は、私にとって初めての経験であり、それが長野県会団長という理事であったこともあり、不安でありましたが、経験ある皆さんに支えていただきながら、無事職務を果たすことができ、それ以上に全国の仲間と出会い、生きた情報を得たことはもちろん、情報交換だけでなく、実際仕事まで結びつき、見積取引まで至ったこともございました。これがまさしく、木青連活動と本業との連携であったと思います。

最後になりましたが、地元はじめ、県、全国まで、同世代で近い業種の仲間と出会い、お互い高め合い、助け合えるそれが木青連の意義ではないかと考えます。今年度は最後、色々なことがありましたがこの大変な局面も仲間のみなさんの協力があり、乗り越えることができました。今後どんな形であれいい仲間として、つながっていくことを願っています。

今年一年、本当にありがとうございました。そして今後とも「次のステージへ」よろしく願い申し上げます。

平成29年度事業概要

長野県木材青壮年団体連合会
平成29年度会長 田中 一興

会長指針

“木はいいものを伝える”時代から、“木の使い方を提案する”時代へ

昨今、我々木材業界を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。国は環境問題など様々な面から木材利用へ舵を取り、また木材業界諸先輩方のお力もあり、一般の方々は、木はいいものだと概ね思っているのではないのでしょうか。そんな中でも、地場の木材業界を取り巻く環境は安定しているとは言い難く、木青連の会員数の状況も減少を続けております。

人にとって地域にとって木は、森は何がいいのか、そのためにどうしていけばいいのか、どういう使い方があるのか、木を扱う木財人としてそれを知り、提案することが求められているのではないのでしょうか。

そのためには、温故知新、知恵と知識と最新の情報、会員もしくは諸先輩方が持っているものを、互いに交換し木材人として肩を組み、時には色んな面で助け合い、行動を起こすことが必要だと考えます。そしてそれが、自分・自分の会社・社員を成長させ、地域社会を盛り上げることに後々つながるのだと思います。

スローガン

「共に次のステージへ！ “木”と“木青連”」

基本方針

1. 会員相互の“つながり”をより深めよう
2. 先輩、他団体、木材人の交流情報共有の礎を築こう
3. 木青連活動をご家族、自社につなげていこう

事業計画

【1】長野県木青連が基本方針に基づき、会員、単位会団、ブロック並びに関係諸団体と連携して行う会議

- (1) 定時総会
- (2) 理事会
- (3) 県、中部森林管理局、関係団体との懇談会

【2】長野県木青連が主催し、各単位会団、個人会員に協力を依頼して行う事業

- (1) 第58回県会員中信大会
- (2) 第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール
- (3) PRカレンダーの斡旋
- (4) 木工教室
- (5) 会員拡大
- (6) 木青連だよりの発行
- (7) 木青連の森ラブリーン事業
- (8) 木青連OB交流事業

【3】各単位会団、ブロックが主催し長野県木青連が協力して行う事業

- (1) 木材PR事業

【4】日本木青連が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 第62回全国会員大阪大会
- (2) 第42回全国児童・生徒木工工作コンクール
- (3) 第21回日本木青連木材活用コンクール
- (4) ウッディレターの配信
- (5) 総会、理事会、委員会

【5】地区協議会が主催し、各単位会団、各県木青連に協力を依頼して行う事業

- (1) 北信越地区会員大会
- (2) 北信越地区協議会

【6】関係諸団体等が主催し、長野県木青連、ブロック、単位会団が協力して行う事業

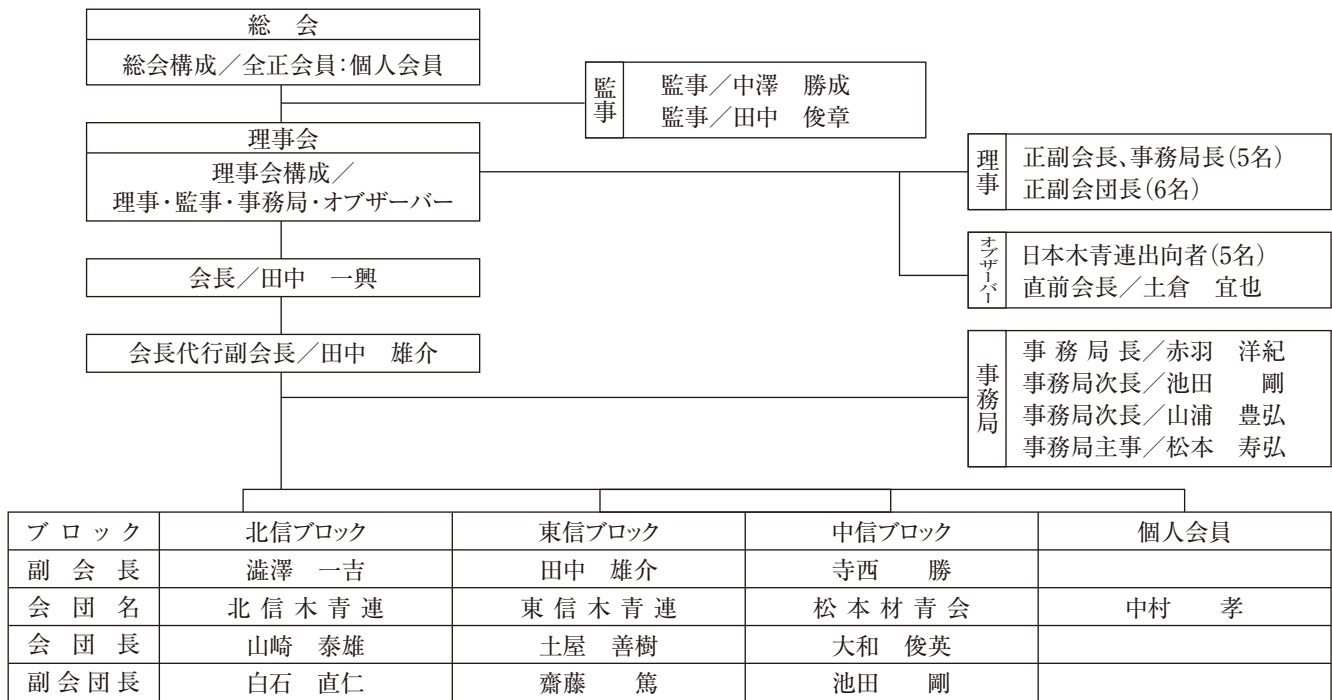
- (1) 長野県県産材振興対策協議会が主催する事業
- (2) 長野県木材協同組合連合会が主催する事業
- (3) 長野県木材産業振興基金が主催する事業
- (4) 県、中部森林管理局等が主催する事業

平成29年度 会議・事業経過報告

3月10日(金) 日本木青連 第1回理事予定者会議
3月24日(金) 正副会長・事務局引き継ぎ会議
4月8日(土) 日本木青連 第1回理事会
4月12日(水) 松本材青会総会
4月15日(土) 長野県木青連 臨時理事会 理事予定者会議
4月20日(木) 北信木青連総会
5月13日(土) 第58回県会員中信大会
5月24日(水) 国際ウッドフェア 日本木青連共催 セミナー
5月31日(水) 平成29年度 長野県木材産業政治連盟 通常総会
平成29年度 長野県木材協同組合連合会 表彰式
6月3日(土) 長野県木青連 第1回理事会
6月4日(日) ラブグリーン タイムカプセル 試掘
6月5日(月) 長野県県産材振興対策協議会第33回通常総会
6月16日(金) 日本木青連 第2回理事会
6月17日(土) 日本木青連 全国会員大阪大会
6月30日(金) 長野県木材産業振興基金第26回通常総会
7月15日(土) 日本木青連 第3回理事会
日本木青連 東海地区協議会 会員愛知大会
7月22日(土) おたり真夏の雪まつり 木工教室
7月23日(日) 信州山の日イベント2017 木工教室
7月25日(火) 細川忠國氏の叙勲を祝う会
7月29日(土) 長野県木青連 第2回理事会
信州環境フェア2017 木工教室
長野県木青連 懇親会暑気払い
7月30日(日) 信州環境フェア2017 木工教室
9月2日(土) 日本木青連 第4回理事会
日本木青連 中国四国地区協議会 会員広島大会
10月6日(金) 長野県木工工作コンクール 審査会
第1回北信越地区協議会 長野
10月21日(土) ラブグリーン タイムカプセル 掘り出し
10月28日(土) 日本木青連 第5回理事会
日本木青連 東北地区協議会 会員岩手大会
11月3日(金) 新井家(喪主新井元会長)告別式
11月11日(土) 信州バザール 木工教室
長野県木工工作コンクール 表彰式
ラブグリーン タイムカプセル 開封式
長野県木青連 第3回理事会
11月12日(日) 信州バザール 木工教室
11月18日(土) 日本木青連 北信越地区協議会 会員石川大会
11月27日(日) 県議会農政林務委員会と懇談会
1月13日(土) 日本木青連 第6回理事会
1月18日(木) 長野県木青連 臨時理事会
2月17日(土) 長野県木青連 第4回理事会

京：東京スカイツリータウン
長野：林業センター
東京：江戸東京博物館
松本：ホテルモンターニュ
松本：ハリカ
長野：ホテルメトロポリタン長野
松本：松本東急REIホテル
長野：若里ホール
長野：ホテル信濃路
長野：ホテル信濃路
松本：ハリカ
松本：元木青連の森
長野：ホテル国際21
大阪：中之島センタービル
大阪：リーガロイヤルホテル
長野：林業センター
愛知：栄ガスホール
愛知：栄ガスホール他
小谷：榎池高原
小諸：長峰高原
長野：メトロポリタン長野
長野：林業センター
長野：ビッグハット
長野：Baccara
長野：ビッグハット
広島：広島サンプラザ
広島：広島サンプラザ
松本：松本地域振興局
松本：松筑建設会館他
松本：元木青連の森
岩手：大通会館リリオ
岩手：盛岡グランドホテル
小諸：小諸法事センター
松本：やまびこドーム
松本：やまびこドーム
松本：やまびこドーム
松本：アルウィン
松本：やまびこドーム
石川：山中温泉
長野：県庁 ホテル国際21
東京：新木場木材会館
松本：ハリカ
松本：教育文化センター

平成29年度 組織図



平成29年度 出向者

《1》日本木材青壮年団体連合会		《4》長野県産材振興対策協議会	
監事	印出 晃 [松本材青会]	理事	田中 一興 [松本材青会]
理事 会団長	田中 一興 [松本材青会]	幹事	赤羽 洋紀 [松本材青会]
理事 木育推進委員会 副委員長	土倉 宜也 [北信木青連]		
木育推進委員会 委員	田中 俊章 [東信木青連]		
木材活用委員会 委員	寺西 勝 [松本材青会]		
《2》日本木材青壮年団体連合会 北信越地区協議会		《5》長野県木材産業政治連盟	
県会団代表	田中 一興 [松本材青会]	副会長	田中 一興 [松本材青会]
県会団代表	田中 雄介 [東信木青連]	委員	田中 雄介 [東信木青連]
県会団代表	赤羽 洋紀 [松本材青会]		
県会団代表	山浦 豊弘 [東信木青連]		
《3》長野県木材産業振興基金		《6》(公財)長野県緑の基金	
理事	田中 一興 [松本材青会]	評議員	田中 一興 [松本材青会]
理事	田中 雄介 [東信木青連]		
評議員	寺西 勝 [松本材青会]		
評議員	赤羽 洋紀 [松本材青会]		

一年を振り返って



平成29年度 長野県木青連 直前会長
平成29年度 日本木青連 木育推進委員会 副委員長

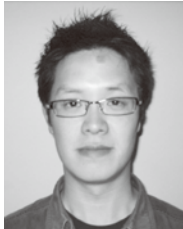
土倉 宜也

平成29年度、長野県木青連では直前会長として一年間、会の活動に携わらせていただきました。「共に次のステージへ！木と木青連」のスローガンのもと、力強くリーダーシップを発揮し、活動された田中会長、一年間、会の運営大変にお疲れ様でした。また、執行部をはじめ会員の皆様には理事会、木工教室、木工コンクールと多くの活動にご協力いただいた事に敬意と感謝の気持ちを表したいと思います。

また、日本木青連へは荒井会長の「WOOD LEGACY(ウッド・レガシー)～ 木の文化を全国の都市景観へ」のスローガンの下、木育推進委員会の副委員長として出向させていただきました。木育推進委員会は主に全国木工工作コンクールの運営をさせて頂いております。本年度は20,000作品を超える参加がございました。その中でも、長野県は奈良県に続き全国第2位の参加応募者数となりました。

今、長野県木青連は少数精鋭のメンバーにて構成されております。木材の普及啓蒙活動を主として活動しておりますが、会員数の減少が危惧されている点是否めません。一昨年は県の会長として、そして本年は田中会長のもと会員との交流をもっと深め、繋がりのある仲間を増やすことに重点を置き活動してきましたが、やはり、会員を増やすには、既存の会員

一年を振り返って



平成29年度 長野県木材青壮年団体連合会 財務担当 副会長
平成29年度 日本木青連 木材活用委員会 委員

寺西 勝

今年度は田中会長の下で財務担当副会長として、3つの事業の担当をさせていただきました。

1つ目は理事会の運営です。不慣れな理事会運営でご迷惑お掛けしたと思いますが、会長・役員・会員の皆様のおかげで無事一年乗り切ることが出来ました。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

2つ目は県木青連担当の木工教室です。信州環境フェア2017・小谷雪まつり・信州山の日・信州バザールと4回開催させて頂きました。多くの県民の方が「木の小イス」製作から県産材の良さ、ぬくもりを感じて頂き、大変喜んで頂けたと思っています。

参加してくれた親子が、真剣に作ってくれている姿を見るのは将来の可能性を感じずにはいられません。

3つ目はラブリグリーン事業です。木青連の先輩方が活動してこられたラブリグリーン事業の集大成を今年度開催しました。タイムカプセルを埋めてから20年が経過しているため、

が木青連の会員で良かったと思える様になることが重要だと思います。

日本木青連出向の最中、卒業された日本木木青連会長の経験あるの先輩とお話する機会がありましたので質問してみました。「木青連をやっていて良かったことありますか？」その先輩はこう仰っていました。「実際、現役として活動していた頃は大変なことも多く仕事に繋がるようなこともあまり無かったけど、今、その時に一緒に活動してできたメンバーがいることで、商売の幅も広がり、困ったときに助けてもらえる本当の仲間が出来たことが一番かな。」

長野県木青連には先輩諸兄が築き上げていただいた日本木青連や県との繋がり、そして県内会員との繋がりが多くあります。実際、僕自身も一会員の頃はあまりその繋がりの方さや、大切さを実感することが正直あまりなかったのですが、昨年度の県の会長や日本木青連への出向をさせていただいたことで新しい仲間と出会い、その繋がりの方さを実感しています。

より多くの長野県木青連の会員が木青連で良かったと思える様、地域の木青連から長野県の木青連へ、そして日本木青連へと自ら進んで参加し、県や日本木青連との繋がりの方さを実感し、活用していただければと思います。僕自身も一人でも多くの仲間と出会える様にこれからも活動して行きたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。

記録探しからになりました。掘り出し作業にはお忙し中、木青連の先輩にも参加して頂き、若かりし先輩方の写真も見ることができました。

来年度も数多くの活動があると思いますが、木材のPR活動を会員全員で頑張りましょう。

また、平成29年度は、日本木材青壮年団体連合会に木材活用委員会の委員として出向させて頂きました。初めての出向でしたが、全国の木青連仲間と親睦を深め木材活用コンクールに向けて一年活動してきました。全国から140点の応募の中から、入選20点を選ぶ審査会では数多くの作品を見ることができ、大変勉強になりました。北信越地区からの少なかった点が反省点です。今後、地元長野県からの応募が増えるように活動したいと思います。

全国大会で行われる表彰式まで、木材活用委員会の仕事が残っています。悔いのないように木材PR活動をしたいと思います。

一年間ありがとうございました。

一年を振り返って



平成29年度 長野県木材青壮年団体連合会 副会長

澁澤 一吉

長野県木青連として一大事業である児童・生徒木工工作コンクールを、本年度は取りまとめさせて頂きました。毎年行っていることでもあり、審査会や表彰式、展示等と慣れている点も問題ないと考えていました。

しかしながら今回長野県下で5000作品以上も集めるということが、どれほど大きな事業であるかということを感じさせられました。北信・東信・松本の各会団のみならず、各地区

一年を振り返って



平成29年度 日本木青連 監事

印出 晃

今年度は、日本木材青壮年団体連合会監事として、日本木青連に出向させて頂きました。

昨年度は、北信越地区地区長として常任理事会に参加しており、全体の流れを把握することができましたので、なんとか、本年度監事講評が出来た次第です。

理事会には全国の理事が貴重な時間とお金を使って集まって参ります。限られた時間の会議に臨むにあたって、前もって理事会資料に目を通し、前回議事録を読み込んで来ることが重要であると感じました。そうすることによって、議論すべき焦点が見えてきます。

県の理事会においても、同じことが言えると思います。そうして活発な意見交換をすることにより、担当者に多くを負担させるのではなく、皆で作り上げるという意識が必要であ

一年を振り返って



平成29年度 日本木青連 木育推進委員会 委員

田中 俊章

平成29年度は木育推進委員会の委員として、同じ長野県から出向の同委員会土倉副委員長を支えるべく一年間を共に活動しました。

全国の木工工作コンクールの出品数では、長野県は奈良県に次いで二番目に多い県です。

委員長は奈良会団の甲村委員長でしたので、木工工作に慣れている委員も多く、コンクール事業は非常にスムーズに進

木材協同組合の方々、更に個人会員の方々の力がなくてはこれ程の事業は成立しないのではと思い、その作品群を長野県木青連で審査、表彰させてもらえるということは、非常に栄えあることだとも感じました。

その中から選ばれた作品であるからこそ、全国に出品するにあたって、大いに期待して送付させてもらいましたが、3作品とも一次審査通貨は当然思いながらも、二次審査不通過はとても残念でした。全国のレベルは確かに高いと思いますが、長野県の作品も十分に素晴らしいと思います。次年度以降も是非全国で評価される作品を送り続けることが、木に触れることを知る子供たちを、増やしてゆくことに繋がると思います。

と思います。

そのためにも、私が思うには、懇親会が重要です。懇親会ではなかなか会議中には言い出せないような本音が出てきます。また、交流を深めることによって、会議の場であっても忌憚のない意見を言いやすくなります。一方で木青連の事業そのものも大切ですが、そうして築いた人脈は、個人としても、各会社としても大変な宝になると思います。

気づけば私も44歳となり、定年まであと1年？となりました。これまで十数回に渡り日本木青連に出向させて頂きましたが、多くの仲間と巡り会うことができ、それが大きな財産となっております。まだ、日本木青連に出向されたことのない方は、是非一度出向してみてください。決して敷居の高い所ではございません。同じように悩み、同じように頑張ってる仲間が大勢います。得るものは沢山あるはずです。

来年度は木材推進委員会の副委員長としてまた出向させていただきます。皆さん、今年度も一年ありがとうございました。また、来年度も宜しくお願いします。

みました。

また、全国の審査を勝ち抜いてきた応募作品だけに、どの作品もとてもよく出来ていて、子ども達の創造力にはたいへん驚くばかりでした。

当コンクールを通じて子ども達に木の大切さとぬくもりを伝える活動を木青連活動の木育事業の一つとして位置づけ、今後も引き継いでいく必要があると思います。

次年度は木材活用委員会の委員長として長野県から出向します。

皆様のご協力を宜しくお願い致します。

一年間ありがとうございました。

第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。

そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主 催】 長野県木材青壮年団体連合会
【共 催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会
【後 援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、abn長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対 象 者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

【応募基準】 (1) テーマ／自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
(2) 大きさ／タテ・ヨコ・高さ それぞれ60cm以下とする。
(3) 締切り／平成29年9月8日(金)
(4) 送り先／最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】	年 月 日	場 所	内 容
	平成29年 7月上旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付各関係機関へ依頼書送付
	7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中)各材料の提供配布は地元会員が手配
	9月8日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
	9月9日～	県下全域	各地区審査会を実施
	10月6日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
	10月10日～13日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
	10月23日～27日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1講堂前にて展示
	11月11日	松本市	松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて表彰式
	平成30年 1月(予定)	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール審査会
	6月(予定)	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】 <基準>
各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。
・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
・木の持味を生かし独創性に優れていること。
・機能、デザインが優秀であること。
・工作技術が優秀であること。

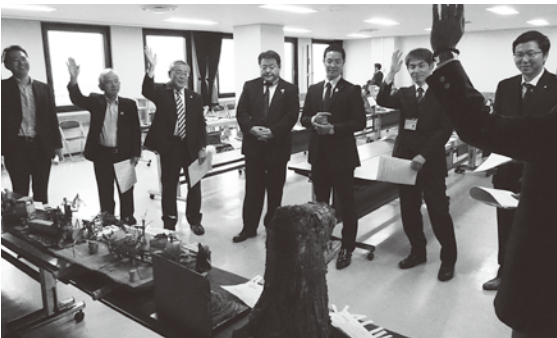
【審査会】 平成29年10月6日(金) 松本合同庁舎(502会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター 専門主事 宮原 啓一 様
審 査 委 員 長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 課長補佐 芹沢 隆史 様
林野庁中部森林管理局 中信森林管理署 署 長 角 秀敏 様
(公財)長野県緑の基金 常務理事兼事務局長 関 眞一 様
長野県県産材振興対策協議会 理事 長野県木材協同組合連合会 専務理事 宮崎 広雄 様
長野県木材青壮年団体連合会 会 長 田中 一興 様
直前会長 土倉 宜也 様
代行副会長 田中 雄介 様
副 会 長 寺西 勝 様
副 会 長 澁澤 一吉 様
事務局長 赤羽 洋紀 様
計11名



外部審査委員(左手前から)
長野県総合教育センター 宮原専門主事 様
(公財)長野県緑の基金 関常務理事 様
長野県林務部 信州の木活用課 県産材利用推進室 芹沢課長補佐 様
林野庁中部森林管理局 中信森林管理署 角署長 様
長野県木材協同組合連合会専務理事・長野県県産材振興対策協議会理事 宮崎 様

【審査風景】 平成29年10月 6日(金) 松本合同庁舎(502会議室)



【展示風景】 平成29年10月10日(課)～13日(金) 松本合同庁舎 1 階ロビー
平成29年10月23日(月)～27日(金) 長野県庁 1 階講堂前



【表 彰 式】 平成29年11月11 日(土) 松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて



第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作 品 名	氏 名	学 校 名	学 年
ティラノサウルス	栗屋 侑生	木祖村立木祖小学校	3年
ハスの花	松原 彩花	南木曽町立南木曽小学校	6年
蓑亀	中澤 裕輝	伊那市立春富中学校	2年
やまにのぼるきかんしゃとひゃくさいのきかんしゃ	甘利 優貴	長野県松本養護学校	5年

2. 長野県教育委員会賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
佐久鯉ジャンプ!!	西澤 慶	佐久市立野沢小学校	4年

3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
進め汽車	奥 直也	原村立原小学校	4年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
竹でつくったかえるとかたつむり	宮澤 和琶	安曇野市立堀金小学校	5年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
小野矢彦神社 一之柱御柱大祭でよいさ～	矢島 芳健	辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校	4年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
トラック	上田 琢磨	上松町立上松小学校	3年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
ハンバーガー	福澤 月恋	伊那市立伊那小学校	5年

8. 優秀賞

作 品 名	氏 名	学 校 名	学年
鳴いて羽ばたく鳥	任 隼怡	千曲市立埴生小学校	5年
キッチン用品	赤地 穂佳	長野市立通明小学校	6年
上田城の門	中村 陸	上田市立城下小学校	5年
金魚の兄弟	田村 颯涼	佐久市立岩村田小学校	4年
国宝松本城	中神 葵	安曇野市立堀金小学校	5年
曲げわっぱ弁当	鈴木 姫花	大町市立大町南小学校	5年
ジュラ紀の草食首長竜	向山 恭平	茅野市立宮川小学校	5年
収納テーブル	両角 勇人	原村立原中学校	2年
スーパースイートコーン	松下 世	南木曽町立南木曽小学校	2年
木に登るカブクワたち	原 悠人	南木曽町立南木曽小学校	5年

□第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール内訳

総 参 加 人 数		5,448 名
参加 学校 数	小学校	147 校
	中学校	2 校
	盲・ろう・養護学校	1 校
合 計		150 校

審 査 会 出 品 数	81 点
入 選（左記の1～7）	10 点
優 秀 賞	10 点
佳 作	475 点
努 力 賞	4,953 点
総 作 品 数	5,448 点

■ 最優秀賞（長野県知事賞）



ティラノサウルス

木祖村立木祖小学校3年 栗屋 侑生

ぼくは、夏休みの工作で何を作るか考えた時、大すきなティラノサウルスを作ろうと思いました。そして、ざいりょうは何にしようか考えていたら、味そ川ダムの流木がちょうどいいと思ったので、流木を使うことにしました。はじめはティラノサウルスの体全体を作ろうとしたけど、大きさに合った流木がなかったので、大きな頭を作ろうと思いました。流木を組み合わせて、頭の形が出来てきたら、犬み

たいになってしまったので、木のかわをはることにしました。いいサイズの木のかわが見つかって、パズルみたいに当てはめていったら、ティラノサウルスになってきたのでうれしかったです。図かんで見たティラノサウルスの、体の表面にそっくりのかわが見つかってよかったです。いい作品ができてうれしかったです。

■ 最優秀賞（長野県知事賞）



ハスの花

南木曽町立南木曽小学校6年 松原 彩花

私がこの作品を作ろうと思ったのは、「自然系を作りたいな」と思ったからです。去年までは、建物系を多く作ってきました。なので自然の物を作りたいと思い、始めに花が浮かんできました。私は水に浮かぶハスの花が好きだったので、ハスの花にしようと思いました。

ハスの花の中から外に開いている感じを表現するのがけっこう難しかったです。中側から一枚一枚交互に貼っていき、上手く表現しました。少し難しかったけど、きれいにできて良かったです。

葉になる木を選ぶのも、難しかったです。なるべく同じ長さに切って貼るのも、横はばが合わなかったりして、なかなか見つからず、大変でした。でも、合うのを探して作りました。そのおかげできれいに作れました。

特に工夫したのは、花や葉の高さです。目立たせたい、上手く作れた花を一番高くしました。その下にバランス良く花と葉を調節してさしました。

細かな所も工夫して作れて良かったです。メインのきれいに見せたいハスを上手く使って、自然の感じを木で表現できて良かったです。良い作品を作ることができました。県知事賞をとることができてうれしかったです。

■ 最優秀賞（長野県知事賞）



蓑亀

伊那市立春富中学校2年 中澤 裕輝

私がこの作品を彫ろうと思った理由は、二つあります。一つ目は、亀が好きで家で亀を飼っているので、彫る時に立体で亀のイメージがし易いと思ったからです。平面のイメージだけで彫ると甲羅や、爪などを彫る時に、全体のバランスや雰囲気が悪くなってしまうです。二つ目の理由は、用意した木の板の大きさや形に題材のレイアウトが合っていると思ったからです。この作品を彫っている時間は、他の事を考えず、無心に彫ることが出来ました。

彫刻を彫る上で一番大切だと感じていることは、自分が「これを彫りたい」という想いです。その想いを持ったからこそ今回の作品を彫ることが出来たと思います。

彫る中で工夫した所は、亀の毛の部分です。長寿の象徴として表現されている蓑亀には、藻が毛のように生えています。毛のなびいている感じを太い線と細い線を不規則に入れることで表現しました。出来上がった作品を見て、これまで彫った作品の中で一番題材のイメージを誠実に彫ることが出来ました。

今回の作品を制作するにあたり、数年前から彫刻を教えて頂いている親戚のおじさんとおばさんや彫刻の道具を用意してくれた両親に感謝しています。今後も彫刻を続けていきたいです。

■ 最優秀賞（長野県知事賞）



やまにのぼるきかんしゃとひゃくさいのきかんしゃ

長野県松本養護学校5年 甘利 優貴

ぼくの大好きな「山にのぼる機関車の絵本」を見ながら、作りました。のこぎりやかなづちを使うのはたいへんだったけど、がんばりました。

ました。鯉がとびはねてうねっているかっこうを作ったので、どう体は、三つまたになっている木の、はねているように見える部分二辺を選んで残し、残り一辺を切り落として作りました。松ぼっくりの一枚一枚をうろこにしてグルーガンではりつけたり、バックには、小えだをはりつけて、たきに見えるようにしたところはとても根気のいる作業だったので、やっとできあがった時は、「ヤッター」という気持ちで、本当にうれしかったです。今回この作品を作ってみて、もっと佐久のシンボル「佐久鯉」のことをたくさんの人に知ってもらえたらうれしいなと思いました。

■ 長野県教育委員会賞

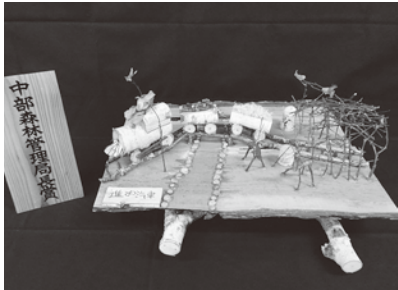


佐久鯉ジャンプ！！

佐久市立野沢小学校4年 西澤 慶

ぼくがこの作品を作ろうと思ったのは、ぼくの住んでいる「佐久市」で有名な鯉を、木で作ってみたいだろうのかな、ときょうみがわいたからです。「佐久鯉」は全国的にもとても有名だし、ぼくのおじいちゃんの家でも、何匹かかっていたので、とても親しみがありました。また、鯉のたき登りはかっこいいなあと思ったのも理由の一つです。材料の木は、近くの森林にお父さんとさがしに行き

林野庁中部森林管理局長賞



進め汽車

原村立原小学校4年 奥 直也

ぼくは、一年生の時から木工工作を作っています。いい作品を作ろうと夏休み前からいっぱいアイデアを考えていました。その中で生きている木を切るのはかわいそうだから、落ちている木を使って作ろうと決めました。

まず、落ちている木を拾ってきて、かわかしました。土台と汽車を置く線路、線路の下の川を作りました。線路の先がさみしかったので枝を組み合わせ

て山を作りました。

そして、汽車本体を作りました。煙が出ているように見せるために葉っぱを付け工夫しました。線路とタイヤがうまく付かなかったので苦戦しました。

それでもまだ物足りなかったので、鳥や鹿を作りました。

今回の作品はこれまでで1番苦労したけど、とても満足のいく作品になりました。

来年もいい作品を作りたいです。

公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞



竹でつくった かえるとかたつむり

安曇野市立堀金小学校5年 宮澤 和哲

皆木を使って作品を作ったので、僕は材料を竹にしようと思いました。

お父さんと休みの日に竹を取りに行きました。太い竹や細い竹を十本位取ってきました。始めに竹をまっすぐ切る練習をしました。竹は丸いので、切るだけでもむずかしかったです。何回も切っているうちにいろんな幅に切る事ができました。竹の節の切り口がカエ

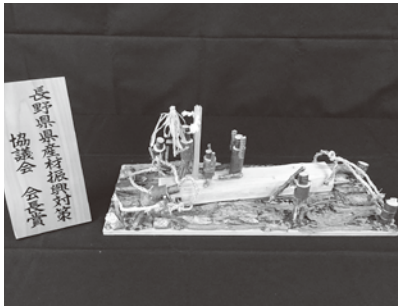
ルの顔に見えました。たくさん切って目を書いて並べてみました。カエルの合唱のようで良かったです。

竹に穴を開けるときはドリルを使いました。ドリルを使うのも初めてだったのですごくドキドキでした。

練習でたくさん切ったいろんな大きさの竹も、何かに使えないかと考えていたら、起き上がりこぼしを思いつきました。太い竹の中に、中ぐらいと細い竹をボンドで付けてみました。起き上がりこぼしの動きをして、ゆらゆら動きましたが、よく見るとかたつむりのように見えたのでドリルで穴を開け目を付けました。

切って、穴を開けて、くっつけて、初めての事はかりでしたが、工作するって楽しいと思いました。

長野県県産材振興対策協議会 会長賞



小野矢彦神社 一之柱 御柱大祭でよいさ～

辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校4年 矢島 芳健

ぼくの住んでいる辰野町小野では、今年御柱祭がありました。ぼくは、御柱のおの入れ・つなより・木づくりなども近くで見ることが出来たので、御柱を作るのがこんなに大変なんだと初めて知りました。そして、ぼくも小さな御柱を作ってみたいなと思いました。

この作品のイメージは、御柱に乗って木やりを鳴く氏子や、つなを引っぱる元づなと追いかけて。楽しかった里びきを思い出しながら作りました。

柱は矢彦神社一の柱の切った枝を使って、氏子は桜の枝、地面は、松ぼっくりと松の皮を使いました。むずかしかったことは、のこぎり・ちょうな・カンナ・ノミを使ったことです。お父さんに教えてもらいながら、がんばって作りました。初めて使う道具ばかりだったのでむずかしかったけれど、満足のいく作品が出来て良かったです。たくさん作品の中から選んでいただいてありがとうございました。

長野県木材協同組合連合会 理事長賞



トラック

上松町立上松小学校3年 上田 琢磨

夏休みの工作に何を作るか考えていました。前に学校の社会見学でちょ木場へ行った時に木材をつんだトラックを見て、かっこよかったので作ろうと思いました。

学校から持って来た材料だけでは足りなかったので、おじいちゃんの家に行って足りない材料をもらいました。

おじいちゃんに手伝ってもらい、丸いぼうをタイ

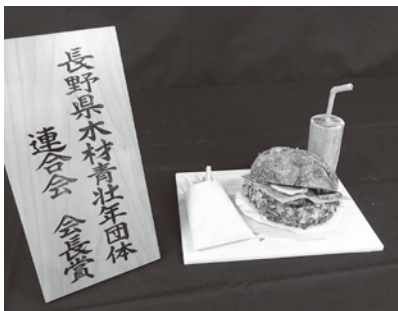
ヤ、板を車体の長さやうんでんせきの大きさを考えてノコギリで切りました。

お父さんから工具をかりて使い方を習って、しるしをした所に穴をあけてタイヤを付けました。

板をボンドではり付けて、板がずれないように組立てて、かわくまで時間をかけて作りました。そして荷台の木材に見せようとヒノキのえだをノコギリで切って乗せました。

完成したトラックは社会見学で見たトラックみたいにうまく出来てうれしかったです。

長野県木材青壮年団体連合会 会長賞



ハンバーガー

伊那市立伊那小学校5年 福澤 月恋

木工は、本だなとハンバーガーのどちらを作ろうかなやみました。

ハンバーガーの方が面白そうだなと思い決めました。

庭の桜の木のみに「コブ」があったので、作品に使えそうだなと思いお父さんに切ってもらいました。

他の材料は、川へ行って流水を拾ってきたり、近所の製作所のいらなくなった物の中から使えそうな物をいただいできました。

材料をそろえるのが一番大変でした。

私は、クギを打ったり、木ネジを回したりするのは苦手なので、組み立ては木工ボンドを使って行いました。

材料があまったのでハンバーガー以外の物も作り、作品全体のバランスが良くなったと思います。

思いどおりの形には出来なかったけど、完成した時はうれしかったです。

来年も木工をやろうと思います。

おたり真夏の雪まつり2017[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】おたり真夏の雪まつり2017 木工教室

【実施日時】平成29年7月22日(土) 13:00～16:00

【実施場所】小谷 榎池高原・雪の広場

【対象者】一般来場者

【担当】寺西 勝

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に

触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していた

だ。また、同時に木育教室を開催し長野県の森林

の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】小谷村観光連盟が主催する「おたり真夏の雪まつり2017」で木工教室・木育教室を開催。

ミニ椅子づくり(イスキット)1日間 21セット

《準備品》

イスキット／道具(カナヅチ、釘抜き等)

／釘、紙やすり／コンパネ／ブルーシート

／掃除道具／受付簿、整理券

【スケジュール】7月22日 10:00～ 材料搬入

12:00～16:00 木工教室

16:00～ 片づけ、搬出

【当日の風景】



信州山の日イベント2017[木工教室]事業報告

事業報告書

【事業名称】信州山の日イベント2017 木工教室

【実施日時】平成29年7月23日(日) 10:00～16:00

【実施場所】小諸市 高峰高原 ※小雨決行

【対象者】一般(信州山の日イベント 来場者)

【担当】寺西 勝

【事業主体】長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に信州

山の日のPRや木材に触れて創る喜びを感じて

木の良さを体感していただく。

【事業内容】長野県林務部が主催する「信州山の日イベント2017」で木工教室を開催

ミニ椅子づくり(イスキット) 100セット

《1回毎の講座内容》

イス作り開始(50分)

※木青連は、参加者のイスづくりをサポート

《準備品》

イスキット100セット／道具(カナヅチ、釘抜き等)

／テント(3間×4間)2張／釘、紙やすり

／コンパネ10枚／ブルーシート／掃除道具

／受付簿、整理券

【スケジュール】7月24日 8:00～ 集合・材料搬入

9:30～ オープン

10:00～16:00 木工教室

16:00～ 片づけ、搬出

《木工教室開催時間》

1回目 10:00～10:50 [20組]

2回目 11:00～11:50 [20組]

3回目 12:30～13:20 [20組]

4回目 13:30～14:20 [20組]

5回目 14:30～15:20 [20組]

【当日の風景】



信州環境フェア2017[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州環境フェア2017 木工教室

【実施日時】 平成29年7月29日(土)～30日(日)
10:00～17:00 ※最終日16:00まで

【実施場所】 長野市 ビッグハット(若里多目的スポーツアリーナ)

【対象者】 一般(信州環境フェア 来場者)

【担当】 寺西 勝

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木材に触れて創る喜びを感じて木の良さを体感していただく。
また、同時に木育教室を開催し長野県の森林の状況や木材の使われ方などを知っていただく。

【事業内容】 信州環境フェア実行委員会、長野県地球温暖化防止活動推進センターが主催する「信州環境フェア2017」で
木工教室・木育教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット(予備10セット)
＜1回毎の講座内容＞
①森林の話し(2分) ②イスの作り方(3分) 木青連 ③イス作り開始(45分)
※木青連は、参加者のイスづくりをサポート
＜準備品＞
イスキット110セット／道具(カナヅチ、釘抜き等)／釘、紙やすり／コンパネ10枚／ブルーシート／掃除道具／
受付簿、整理券

【スケジュール】	7月28日 16:00～17:00	材料搬入
	7月29日 10:00～17:00	(9:30集合)
	7月30日 10:00～16:00	(9:30集合)
	16:00～	片づけ、搬出

《木工教室開催時間》

1回目 10:30～11:20 [12組]
2回目 11:30～12:20 [12組]
3回目 13:30～14:20 [13組]
4回目 14:30～15:20 [13組]
5回目 15:30～16:20 [10組]
※最終日5回目は無し

【当日の風景】



信州バザール2017[木工教室] 事業報告

事業報告書

【事業名称】 信州バザール2017 木工教室

【実施日時】 平成29年11月11日(土)～12日(日) 10:00～16:00

【実施場所】 松本市 やまびこドーム

【対象者】 一般(信州バザール 来場者)

【担当】 寺西 勝

【事業主体】 長野県木材青壮年団体連合会

【趣旨目的】 県産材(杉)の椅子づくりを通して来場者に木育事業の一環として、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を
持ちながら「ものを作る喜び」を知ってもらうとともに、森林の役割や木材の良さ及び利用方法等について学んでもらう。

【事業内容】 信州バザール実行委員会が主催する「信州バザール2017」で木工教室・木育教室を開催。
ミニ椅子づくり(イスキット)2日間 110セット(予備10セット)
・1回の開催時間は約50分
※木青連は、参加者のイスづくりをサポート
・広さ:約5m×10m
・同場所にて、木工工作コンクール優秀作品の展示も行った。
＜準備品＞
イスキット110セット／道具(カナヅチ、釘抜き等)／釘、紙やすり／コンパネ／ブルーシート／掃除道具／整理券

【スケジュール】	11月10日 15:00～17:00	材料搬入
	11月11日 10:00～16:00	(9:30集合)
	11月12日 10:00～16:00	(9:30集合)
	16:00～	片づけ、搬出

《木工教室開催時間》

1回目 10:00～10:50 [11組]
2回目 11:00～11:50 [11組]
3回目 12:30～13:20 [11組]
4回目 13:30～14:20 [11組]
5回目 14:30～15:20 [11組]

【当日の風景】



平成29年度事業実施報告書



北信木青連 会団長
山崎 泰雄

澁澤前会団長の後を受けまして、今年度より北信木青連の会団長をさせていただきます。会員の皆様に支えていただき、何とか1年活動させていただきましたが、不慣れ点が多々あり申し訳ございませんでした。

さて、今年度は長野市城東小学校と飯山市で行われました飯山花フェスタの会場で、それぞれ木工教室を開催させていただきました。両会場とも例年開催させていただいておりますが、城東小学校での木工教室では、例年行っておりますイス作りと、今年初めて県産材の杉を使って、マイ箸作りも開催いたしました。

開始してすぐに予定数すべてが予約で埋るくらい、多くの小学生に体験してもらうことが出来ました、特に箸作りは、低学年の子供にも気軽に挑戦してもらうことができ、

大変喜んでいただきました。

飯山花フェスタの会場では、あいにく雨が降り出してきてしまい、急遽シートを使って TENT を作りその下でのイス作りとなっていました。それでも大勢の方に参加していただき大変喜んでいただきました。また、当日参加された女性の方が、後日「ぜひ孫にもイス作りを体験させてやりたい」とイス作りキッドを購入したいと連絡してくださった方もいらっしゃいました。

「多くの方に木に触れていただき、木の良さを体感してもらう」事ができたのは、木に携わる仕事をしている我々にとっても、将来につながる大変意義深いものだと思います。地道な活動では有りますが、今後も大勢の方に喜んでいただけるような活動をして行きたいと思います。

最後になりますが、この様な活動が出来ましたのも北信木青連会員と県会員の皆様のご協力有ってのことと思います。改めて感謝させていただきます。ありがとうございました。

北信木青連 PR事業 事業報告

- 【事業名】長野市城東小学校木工教室
【日時】平成29年9月23日(土) 9:00～12:00
【場所】長野市 城東小学校
【対象者】城東小学校生徒及び保護者
【内容・題材】木工教室を開催
・ミニ椅子作り(イスキット) 30セット
・マイ箸作り(箸キット) 30セット
《講師内容》
1. イスの作り方説明(5分) 木青連
2. イス作り(45分) 木青連はサポート
3. 箸作りは随時受け付け 木青連はサポート



- 【事業名】飯山花フェスタ(木工教室)
【日時】平成29年10月15日(日) 9:00～13:00
【場所】飯山市 仏壇通り商店街
【対象者】一般(飯山花フェスタ来場者)
【内容・題材】木工教室を開催
・ミニ椅子作り(イスキット) 30セット
《講師内容》
1. イスの作り方説明(5分) 木青連
2. イス作り(45分) 木青連はサポート



平成29年度事業実施報告書



東信木青連 会団長
土屋 善樹

毎年恒例となっている佐久バルーンフェスティバルへの木工教室への出展は2日間とも好天に恵まれ盛況に終わりました。一生懸命に椅子づくりに励んでいる親子の姿を見ると連休を返上して出展した甲斐があります。これからも大切にしていきたい行事だと感じました。上小支部でも恒例となっている森の学校木工教室や小学校での木工教室を行いました。

また長野県木青連の事業といたしましても今年も各地で木工教室が開催されました。私の地元の小諸市・高峰高原でも開催されあいにくの悪天候ではありましたが多くの方々に足を運んでいただいたことを嬉しく思います。

そして木工工作コンクールですが、年々子供の数が減少しているなか作品数は今年も県全体で5000点を上回ったという事で大変すばらしいと感じました。今年はアイディアにあふれた作品が多く審査にうかがう我々としても身が引き締まる思いでした。

東信木青連 PR事業 事業報告

- 【事業名】佐久バルーンフェスティバル2017[木工教室]
【日時】平成29年5月3日(水・祝)～4日(木・祝)
9:00～17:00
【場所】佐久市 千曲川スポーツ交流広場
【参加人数】(来場者数)319名
【内容・題材】木工教室を開催。
・小椅子づくり(イスキット)2日間 319セット
※木青連は、参加者のイスづくりをサポート



平成29年度事業実施報告書



松本材青会 会団長
大和 俊英

平成29年度松本材青会の会団長を務めさせて頂きました。本年度は、長野県木青連へ田中会長を輩出し、地元会団として盛り立てていかなければいけない中、本会団会員を中信に本当に多くの方に力不足の私を支えて頂きました。大きな感謝と共に、あっという間に一年が過ぎようとしています。

今年は、全日本花いっぱい松本大会において、県産桧材を使ったプランターカバーの作製及び納品をさせて頂きました。小中学校や各団体等が、花苗を植栽したプランターを入れて歩道に並べられたプランターカバーは大変好評を頂き、また木の良いPRになったのではないかと思います。その他、例年の活動でもあります親子木工教室や小学校への木の小椅子キットの納入などを通じて、特に子供たちに

木に触れあってもらえたことは、木材界の今後にとってとても大きな活動であると改めて感じる事ができました。小さな活動かもしれませんが、継続することでいつか実りがあるだろうと信じています。

最後になりますが、本年の事業が滞りなく進められてのは、皆さまのご協力あってこそでありここに御礼申し上げます。一年間大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

松本材青会 PR事業 事業報告

- 【事業名】第57回 全日本花いっぱい松本大会
プランターカバー製作・納品
- 【日時】平成29年6月13日(火) プランターカバー納品
- 【場所】松本市 松本城前空地
- 【参加人数】(来場者数)
200基を団体・企業等へ配布
- 【内容・題材】県産材(桧)によるプランターカバー製作
各団体・企業等が作製したプランターカバーを入れて松本駅前大通りに設置



松本材青会 PR事業 事業報告

- 【事業名】親子木工教室(松本農林業祭り)
- 【日時】平成29年9月9日(土) 9:00~16:00
- 【場所】松本市 あがたの森公園
- 【参加人数】(来場者数)約100名
- 【内容・題材】椅子づくり体験 40セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



- 【事業名】木工教室出前講座用椅子キット提供(納品)
- 【場所・日時】松本市並柳小学校
平成29年9月28日(木) 16:00~
松本市二子小学校
平成29年11月13日(月) 16:00~
松本市旭町小学校
平成29年11月27日(月) 16:00~
- 【参加人数】並柳小83名・二子小55名・旭町小67名
- 【内容・題材】椅子づくり体験 205セット
県産材による椅子作り



納品時写真(並柳小)



納品時写真(並柳小)



納品時写真(旭町小)

- 【事業名】木工教室
(松本市波田商工会 ものづくりフェスタ)
- 【日時】平成29年11月4日(土)
- 【場所】松本市 波田体育館前
- 【参加人数】(来場者数)約100名
- 【内容・題材】県産材による椅子作り 50セット
※会団員は、参加者の作り方説明とサポート



- 【事業名】親子木工教室
(ものづくりフェア2017長野)
- 【日時】平成29年11月23日(金) 9:00~17:00
- 【場所】松本市 職業訓練校体育館
- 【参加人数】(来場者数)約200名
- 【内容・題材】椅子づくり体験 100セット
県産材による椅子作り
※会団員は、参加者への作り方説明とサポート



平成29年度 理事予定者会議 議事録

日時／4月15日(土) 場所／ハリカ松本店

【出席者】		議長指名	会長より代行副会長を指名		
◎会長	田中 一興	議事録作成指名	赤羽事務局長予定者		
直前会長	土倉 宜也				
監事	中澤 勝成				
監事	田中 俊章				
◎代行副会長	田中 雄介				
◎副会長	寺西 勝	定足数確認	理事11名中、出席11名 欠席0名 成立致します。		
◎副会長	澁澤 一吉				
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄				
◎北信木青連 副会団長	白石 直仁				
◎東信木青連 会団長	土屋 善樹				
◎東信木青連 副会団長	齋藤 篤	字句訂正	3号議案の北信木青連の会員数が10名から9名に訂正。 それに伴う資料差し替え		
◎松本材青会 会団長	大和 俊英				
◎松本材青会 副会団長	池田 剛				
◎事務局 長	赤羽 洋紀				
事務局次長	池田 剛				
事務局次長	山浦 豊弘	第1号議案	平成28年度 第4回定例理事会議事録(案)承認の件 土倉直前会長より上程		
事務局主事	松本 寿弘				
日本木青連 出向 監事	印出 晃				
日本木青連 出向 会団長	田中 一興				
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	土倉 宜也				
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	田中 俊章	第2号議案	平成29年度 事業計画(案)承認の件 田中会長より上程		
日本木青連 出向 木材活用委員会委員	寺西 勝				
オブザーバー	日野原和仁				
出席者数11名 ◎印は理事					

第3号議案		挙手にて採決 賛成多数 承認
第4号議案		平成29年度 事業計画(案)承認の件 田中会長より上程
第5号議案		平成29年度 事業予算(案)承認の件 田中会長より上程
第6号議案		信州山の日2017木工教室事業計画(案)承認の件 寺西副会長より上程
第7号議案		信州環境フェア2017木工教室 事業計画(案)承認の件 寺西副会長より上程
第8号議案		信州環境フェア2017木工教室 事業計画(案)承認の件 寺西副会長より上程
第9号議案		第2回定例理事会開催日(案)承認の件 田中会長より上程
協議事項		(1)全国大会について 出席者 北信4名 東信5名 松本9名 (2)交流会について 飯田は、昨年に続き。木曾(のむら木材通じて)交流を行ってきたい。 (3)OB会について 倉沢さんに会長を受諾してもらったが、今後活動方法の確認 ※ 7/22おたり真夏の雪まつり 木工教室依頼有り 詳細決まり次第連絡。 ※ 60周年記念大会開催の協議 全国大会が6年後の為見送るか、各会団で協議確認を行う。 通常(10・25・50・70or75・100)が多い。
議事録作成人		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀

平成29年度 第1回定例理事会 議事録

日時／6月3日(土) 場所／松本市 ハリカ松本店 2階

【出席者】		第3号議案	平成29年度40回児童生徒木工工作コンクール開催(案)承認の件
◎会長	田中 一興		澁澤副会長より上程
直前会長	土倉 宜也		土倉直前会長より広告を7月末から7月上旬へ
監事	中澤 勝成〈欠席〉		・グランセローズ枠利用で進める。
監事	田中 俊章〈遅刻〉		オブザーバー日野原さんよりスポンサー募集はどうか。(長野トヨベツ)
◎代行副会長	田中 雄介		・県の補助金の絡みもあるので、県に確認後になると思われる。
◎副会長	寺西 勝		・木工工作でなく、木育のスポンサーとして考えたかどうか。
◎副会長	澁澤 一吉		・担当者を新しく設けて会として担当者を新たに設けるのか。
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄〈欠席〉		・実際には、まだ決まっていないので、今後の協議になるが、共立プランニング
◎北信木青連 副会団長	白石 直仁		日野原さんを通じて、前向きな交渉へ進めて行く。
◎東信木青連 会団長	土屋 善樹		
◎東信木青連 副会団長	齋藤 篤		挙手にて採決 挙手多数 承認
◎松本材青会 会団長	大和 俊英		
◎松本材青会 副会団長	池田 剛	第4号議案	役員選考委員会設置(案)承認の件
◎事務局 長	赤羽 洋紀		田中会長より上程
事務局次長	池田 剛		
事務局次長	山浦 豊弘		挙手にて採決 挙手多数 承認
事務局主事	松本 寿弘		
日本木青連 出向 監事	印出 晃	第5号議案	平成29年度木青連の森ラボグリーン事業(案)承認の件
日本木青連 出向 会団長	田中 一興		寺西副会長より上程
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	土倉 宜也		記念式典7月29日は、信州環境フェアと重なったため日程を秋に変更
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	田中 俊章		
日本木青連 出向 木材活用委員会委員	寺西 勝		挙手にて採決 挙手多数 承認
オブザーバー	日野原和仁		
出席者数10名 ◎印は理事		第6号議案	信州山の日2017木工教室事業計画(案)承認の件
			寺西副会長より上程

第3号議案		平成29年度40回児童生徒木工工作コンクール開催(案)承認の件 澁澤副会長より上程 土倉直前会長より広告を7月末から7月上旬へ ・グランセローズ枠利用で進める。 オブザーバー日野原さんよりスポンサー募集はどうか。(長野トヨベツト) ・県の補助金の絡みもあるので、県に確認後になると思われる。 ・木工工作でなく、木育のスポンサーとして考えたらどうか。 ・担当者を新しく設けて会として担当者を新たに設けるのか。 ・実際には、まだ決まっていないので、今後の協議になるが、共立プランニング 日野原さんを通じて、前向きな交渉へ進めて行く。
第4号議案		役員選考委員会設置(案)承認の件 田中会長より上程
第5号議案		平成29年度木青連の森ラブリーン事業(案)承認の件 寺西副会長より上程 記念式典7月29日は、信州環境フェアと重なったため日程を秋に変更
第6号議案		信州山の日2017木工教室事業計画(案)承認の件 寺西副会長より上程
第7号議案		信州環境フェア2017木工教室 事業計画(案)承認の件 寺西副会長より上程 29日の午前中が第2回定例理事会と重なるので、各会団で参加者を募る。
第8号議案		平成29年度出向者一部追加(案)承認の件 田中会長より上程
第9号議案		第2回定例理事会開催日(案)承認の件 田中会長より上程
協議事項		(1)全国大会について 出席者 北信4名 東信5名 松本9名 (2)交流会について 飯田は、昨年に続き。木曾(のむら木材通じて)交流を行ってきたい。 (3)OB会について 倉沢さんに会長を受諾してもらったが、今後活動方法の確認 ※ 7/22おたり真夏の雪まつり 木工教室依頼有り 詳細決まり次第連絡。 ※ 60周年記念大会開催の協議 全国大会が6年後の為見送るか、各会団で協議確認を行う。 通常(10・25・50・70or75・100)が多い。
議事録作成人		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀

第3号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
第4号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
第5号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
第6号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
第7号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
第8号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
第9号議案		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
協議事項		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀
議事録作成人		平成29年度 事務局 長 赤羽 洋紀

平成29年度 第2回定例理事会 議事録

日時／7月29日(土) 場所／長野県林業センター

【出席者】		議長指名	会長より代行副会長を指名		
◎会長	田中 一興	議事録作成指名	赤羽事務局長		
直前会長	土倉 宜也				
監事	中澤 勝成				
監事	田中 俊章〈遅刻〉				
◎代行副会長	田中 雄介				
◎副会長	寺西 勝	字句訂正	次第7連絡報告事項、会費納入の件の頭に(6)を追加 30P木工工作受賞物品リスト、優秀賞の価格：20,000円を価格：2,000円に変更		
◎副会長	澁澤 一吉				
◎北信木青連 会团长	山崎 泰雄				
◎北信木青連 副会团长	白石 直仁				
◎東信木青連 会团长	土屋 善樹				
◎東信木青連 副会团长	齋藤 篤	第1号議案	第1回定例理事会議事録(案)承認の件 田中会長より上程		
◎松本材青会 会团长	大和 俊英				
◎松本材青会 副会团长	池田 剛〈欠席〉				
◎事務局 長	赤羽 洋紀				
事務局次長	池田 剛〈欠席〉				
事務局次長	山浦 豊弘	第2号議案	第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業計画(案) 澁澤副会長より上程		
事務局主事	松本 寿弘				
日本木青連 出向 監事	印出 晃				
日本木青連 出向 会团长	田中 一興				
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	土倉 宜也				
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	田中 俊章	第3号議案	第58回県会員中信大会 収支決算(案) 寺西副会長より上程		
日本木青連 出向 木材活用委員会委員	寺西 勝				
オブザーバー	日野原和仁				
出席者数10名 ◎印は理事					

議事録作成人 平成29年度 事務局長 赤羽 洋紀
事務局次長 山浦 豊弘

平成29年度 第3回定例理事会 議事録

日時／11月11日(土) 場所／アルウィン 会議室8

【出席者】		議長指名	会長より代行副会長を指名		
◎会長	田中 一興	議事録作成指名	赤羽事務局長		
直前会長	土倉 宜也				
監事	中澤 勝成〈欠席〉				
監事	田中 俊章				
◎代行副会長	田中 雄介				
◎副会長	寺西 勝	字句訂正	協議事項に、タイムカプセルについて追加。		
◎副会長	澁澤 一吉				
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄〈欠席〉				
◎北信木青連 副会団長	白石 直仁				
◎東信木青連 会団長	土屋 善樹				
◎東信木青連 副会団長	齋藤 篤〈欠席〉	第1号議案	H29年度 第2回定例理事会議事録(案)承認の件 田中会長より上程 挙手にて採決 挙手多数 承認		
◎松本材青会 会団長	大和 俊英〈遅刻〉				
◎松本材青会 副会団長	池田 剛〈欠席〉				
◎事務局 長	赤羽 洋紀				
事務局次長	池田 剛〈欠席〉				
事務局次長	山浦 豊弘	第2号議案	信州山の日2017【木工教室】収支決算(案)承認の件 寺西副会長より上程 挙手にて採決 挙手多数 承認		
事務局主事	松本 寿弘〈欠席〉				
日本木青連 出向 監事	印出 晃				
日本木青連 出向 会団長	田中 一興				
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	土倉 宜也				
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	田中 俊章	第3号議案	信州環境フェア2017【木工教室】収支決算(案)承認の件 寺西副会長より上程 挙手にて採拓 挙手多数 承認		
日本木青連 出向 木材活用委員会委員	寺西 勝				
オブザーバー	日野原和仁〈欠席〉				
出席者数12名 ◎印は理事					

お客様がイスキットの金額(@1,500／セット)を見て断るケースがあったので、ティッシュボックスなどの安価な商品もあればよかった。

(北信)利幅があればイスキットの単価を下げてもいいのでは。
(中信)イスキット自体は価格を変更しないほうがいい。
(東信)イスキットの樹種などを変えて安価な商品も並べてはどうか。

・現状の形をいかしつつ背もたれなしなど、形を変えて安くすればどうか。
・学校などに木工教室の授業を提案し、イスキット全体の売り上げを上げてはどうか。などの意見があがった。

挙手にて採拓 挙手多数 承認

第5号議案 平成29年度 第4階定例理事会開催(案)承認の件
田中会長より上程

挙手にて採拓 挙手多数 承認

協議事項 (1)タイムカプセルについて
日程、場所は次の県大会にあわせて、式典をひらく。
その際、記念品は県産材を使った【箸】。
(2)平成30年第59回県会員大会について
・タイムカプセルの式典をあわせて開催する。
・県会員大会の場所を日本木青連のように、前年度会長の地区(第59回県会員大会は松本で)行うのはどうか。
会長を経験してからの県会員大会のほうがいい。
OB・OGには確認を取ったほうがいい。
その場合、新役員は関係各所にしっかりあいさつにまわるほうがよい。
次回の議題にあげる、
(3)次年度役員選考委員会について
年内に決めなければいけないので各会団早めに決めて連絡する。
(4)関係諸団体との親睦事業について
諏訪はお断りした。木曾は確認中
議事録作成人 平成29年度 事務局長 赤羽 洋紀
事務局次長 山浦 豊弘

平成29年度 臨時理事会 議事録

日時／1月18日(木) 場所／ハリカ松本店 2階

【出席者】	
◎会長	田中 一興
直前会長	土倉 宜也
監事	中澤 勝成
監事	田中 俊章
◎代行副会長	田中 雄介〈欠席〉
◎副会長	寺西 勝
◎副会長	澁澤 一吉〈欠席〉
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄〈欠席〉
◎北信木青連 副会団長	白石 直仁
◎東信木青連 会団長	土屋 善樹
◎東信木青連 副会団長	齋藤 篤
◎松本材青会 会団長	大和 俊英
◎松本材青会 副会団長	池田 剛
◎事務局 局長	赤羽 洋紀
事務局次長	池田 剛
事務局次長	山浦 豊弘〈欠席〉
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 監事	印出 晃〈欠席〉
日本木青連 出向 会団長	田中 一興
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	土倉 宜也
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	田中 俊章
日本木青連 出向 木材活用委員会委員	寺西 勝
オブザーバー	日野原和仁
オブザーバー	島田 直政
出席者数14名 ◎印は理事	

議事録作成指名 池田事務局次長

議案	日本木青連からの連絡
	・30年全国大会が、5/11.12に決定 それに伴い長野県大会を4/28に決定 ・各会、会員の増員の勧誘を ・木育推進委員会より木工工作作品で長野県の作品は3点共、書類審査を通過して、2次審査へ
	PRカレンダー
	・2/20までに入金をお願いいたします。 ・日本カレンダーは、人気の為完売 請求・入金の確認
	今回の議案
	・2/27の予定なので、議案のある方は早めに連絡を下さい。
議案	会長予定者に関して
	東信木青連から ・田中雄介会長予定者が、事業の存続が難しくなり、代わりの会長予定者を出せない状況になりました。
	田中会長
	・昨年末から協議してきたけれど結論が出ていない中、各会団で協議
	東信木青連
	・東信木青連の中で唐松会、上小の二会で交互に会長を出している中、年末から年明けまで協議を重ねてきたけれども、結論は出来る出せる人がいない状況です。

北信木青連	
・元々予定していなかったので、他の役や会長を含めて、1年前倒しは厳しい状況です。	
松本材青会	
・色々な意見が出て検討しましたが、やはり東信から出してもらうのが良いのではないかと言う結論になりました。	
田中会長	
・各会団が無理な状況の中、東信で再度検討を。	
・今回、会長予定者を東信木青連の順番を飛ばしても、やはり翌年以降の役員人事が厳しい状況になる。	
北信木青連	
・もし北信から会長を出す場合、他役員を東信から出す案。ただしもし北信から会長予定者を出すのであれば、その後に来る全国大会や役員での優遇をしてもらいたいという意見もあった。	
田中会長	
・会長の再任も有りなので再度検討。	
・再度、各会からの意見	
東信木青連	
・現状、この場では結論が出ないので持帰り再度協議します。	
松本材青会	
・会長や役員の仕事量を減らさないと、今後の成り手不足の問題にもなる。今回は、東信木青連で再度検討してもらえばありがたい。	
北信木青連	
・会長、直前、代行と3年は大変なので減らす、又はどちらかを無くすものありではないか。	
日野原さん	
・県内、県外にも出て行くのである程度の人格でないといけないので、代理で1年やるのも有りではないか。	
・代行は、会長の代理なので代行が2年やるのも理屈的にはあり得る。	
・松本さんは、どこの会団でもやることは同じ状況になる。	
松本さん	
・会長は、県を代表するので、その辺を加味した選任を。	
・東信木青連の会議に、会長、直前も参加したらどうか。	
幹事 中澤さん	
・東信木青連で持帰って協議して決まれば良いけれども、駄目だった場合の、事案として北信木青連でも考えておく必要がある。	
幹事 田中俊章さん	
・まず会長になりたいと思える会にしていかなければならない。	
・木材会を支える気構えで進んでもらい、日本にも参加して全国の意見を聞いてもらいたい。	
・ネット環境が良くなっているので、簡素化出来るものは簡素化するのも有り。	
・2/17には決定するようしっかりした協議を。	
田中会長	
2/17の議案書が期日になるので、それまでにしっかり確定させるよう協議を。	
次回協議事項	・OB会だけで無く、特別会員(賛助会員)と言う枠を設ける。
	・関係団体との交流
	南信地域との交流は時期的に厳しいので、県木連との懇親・意見交換会はどうか。
	松本さん
・この時期は厳しい。理事に確認してみる。	
議事録作成人 平成29年度 事務局次長 池田 剛	

平成29年度 第4回定例理事会 議事録

日時／2月17日(土) 場所／教育文化センター2階

【出席者】	
◎会長	田中 一興
直前会長	土倉 宜也
監事	中澤 勝成
監事	田中 俊章
◎代行副会長	田中 雄介〈欠席〉
◎副会長	寺西 勝
◎副会長	澁澤 一吉
◎北信木青連 会団長	山崎 泰雄
◎北信木青連 副会団長	白石 直仁
◎東信木青連 会団長	土屋 善樹
◎東信木青連 副会団長	齋藤 篤
◎松本材青会 会団長	大和 俊英
◎松本材青会 副会団長	池田 剛
◎事務局 局長	赤羽 洋紀
事務局次長	池田 剛
事務局次長	山浦 豊弘
事務局主事	松本 寿弘
日本木青連 出向 監事	印出 晃〈欠席〉
日本木青連 出向 会団長	田中 一興
日本木青連 出向 木育推進委員会副委員長	土倉 宜也
日本木青連 出向 木育推進委員会委員	田中 俊章
日本木青連 出向 木材活用委員会委員	寺西 勝
オブザーバー	日野原和仁
オブザーバー	島田 直政
出席者数14名 ◎印は理事	

議事録作成指名 池田事務局次長

定足数確認	理事11名中、出席10名 委任状1名 欠席1名 成立いたします。
第1号議案	平成29年度 第3回定例理事会議事録(案)承認の件
	平成29年度 臨時理事会議事録(案)承認の件
	田中会長より上程
	挙手にて採決 挙手多数 承認
第2号議案	平成29年度PRカレンダー幹旋事業決算報告(案)承認の件
	寺西副会長より上程
	挙手にて採決 挙手多数 承認
	・カレンダー企業名の整理、各団体ごとの確認をリストにある企業は過去に作成し版がある状態の企業です。
第3号議案	平成29年度40回児童生徒木工工作コンクール決算報告(案)承認の件
	澁澤福会長より上程
	挙手にて採決 挙手多数 承認

第4号議案	平成29年度信州バザール決算報告(案)承認の件
	寺西副会長より上程
	挙手にて採決 挙手多数 承認
	・名予定者数が早くに終わってしまったので、信州バザール実行委員会と協議して、数を増やすのもあり、補助以外に販売も有りなのか確認していけばどうか。
第5号議案	平成29年度木青連の森ラブグリーン事業(案)承認の件
	寺西副会長より上程
	・名簿は、44名分ありますが、各会に配ったほう良いですか。
	(北信)名簿は、個人情報になるので出さないほうが良い。県大会の、どのタイミングでやるかを検討したほうが良いと思います。
	(東信)せっかくなので多くの人に参加してもらえればと思います。
	(松本)出席者に、当時子供でも今は大人になっているので、イスキットでなく、違う物の方が良いのではないか。
	挙手にて採決 挙手多数 承認
第6号議案	平成30年度長野県木青連役員業(案)承認の件
	田中会長より上程
	(役員選考委員会)議事録
	(東信)話し合いを行いました、どうしても選出できない状況になりました。
	(北信)澁澤さんが受けてくれることになり、土倉さんが副を受けてもらい、北信全体でバックアップをしていきたいと思います。
	今後の順番は、北信→東信→松本→東信→北信で順番を戻すようにする。
	人事案件の為、拍手にて採択 拍手多数 承認
第7号議案	平成30年度理事予定者会議開催(案)承認の件
	田中会長より上程
	4月14日(土)に開催決定
	挙手にて採決 挙手多数 承認
第8号議案	平成30年度県会員松本大会開催(案)承認の件
	田中会長より上程
	4月28日(土)に開催決定
	今年は、ラブグリーンの関係もあり、担当地区での県大会にならない状況になっています。澁澤会長と連携して進めていきたいと思います。
	挙手にて採決 挙手多数 承認
協議事項	・松本さんから、会長・副会長・直前の三役で、県庁・中部森林管理局に挨拶周りを行う。また宮崎理事長から、局長が新しく就任するので、局長と木青連の懇親会を予定していくように。
	・新井さんが卒団になる中、特別会員を設けて会に残れるようにする。
	会則の変更。各階段に属するようにする。
	定年は各会団で決めているので、各会団で特別会員を設けるようにする。
	特別会員の定義は、各会団で定めて、理事会での承認とする。
	全国の登録は行わない。
	内容をまとめて、次回に会則(4.会員及び5.会費及び会計)を確認する。
	議事録作成人 平成29年度 事務局次長 池田 剛